

東京マラソン2015における翻訳アプリの活用

資料3-2

平成27年3月9日
東京都

1. 大会概要

- 正式名称: 「東京マラソン2015」 兼世界陸上競技選手権大会 (2015/北京)男子マラソン代表選手選考競技会 (2007年が初回で今回で9回目)
- 日時: 2月22日(日) 午前9時10分 スタート
- 規模: 約3万6千人のランナー (うち約5千人*が外国人ランナー)
- 主催: 一般財団法人東京マラソン財団

フィニッシュ(手荷物返却スペース)
東京ビッグサイト



* 台湾1367人、アメリカ708人、中国510人、香港476人、イギリス295人など88の国・地域から参加

2. 翻訳アプリの活用

- 翻訳アプリ「VoiceTra4U」の使用方法を事前説明会でボランティアに説明。各自のスマートフォンにダウンロードし、外国人参加者等との会話の必要な場面で翻訳アプリを実験的に使用。

※ ボランティア「Team Smile」: 大会中、ランナーへの給水・給食、コース(沿道)の整理、手荷物預かり・返却等に約1万人で対応。(うち約250名は、東京外語大の学生等を中心に構成された多言語ボランティア(英・中・韓等))

- フィニッシュエリアの手荷物返却スペース(東京ビッグサイト)にて、外国人ランナーに対応するボランティア等を知事が視察し、翻訳アプリを使用した感想等を聴取。

知事視察: ボランティア(左)
と外国人ランナー(右)



主な会話例

- ・参加者は何人ですか。
- ・3万6千人のランナーが走ります。
- ・今日のマラソンは誰が優勝するでしょうか。
- ・バナナは一本ずつ持って行ってください。
- ・救護所はどこですか。
- ・東京マラソンはどうでしたか。

ボランティア(左)による
VoiceTra4U活用状況



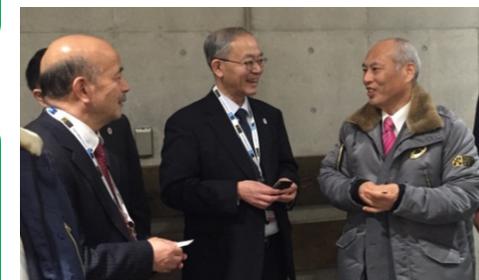
3. 翻訳アプリを利用したボランティアの感想(一部)

<評価するもの>

- ・とても便利なツールである。
- ・外国人とコミュニケーションできて嬉しかった。
- ・翻訳の精度が高い。

<課題に関するもの>

- ・周囲が騒がしいと音が聞こえにくい。
- ・即答を要する場面では利用できない。
- ・医療などの専門的分野の翻訳は難しい。



知事と総務省 武井総括審議官
(中央)、NICT 益子理事(左)の面談